



クリーン北海道プロジェクト in 北海道 帯広編

十勝平野の美しい景観や豊かな生態を守ろう

道内でのさまざまな取り組みを通して自然と触れ合い、環境の大切さを学ぶクリーン北海道プロジェクト。11年目の今年も道内各所で計7回の活動を行っています。第6弾は帯広市で行われた、十勝平野や身近な地域で生息する動植物の生態系について、理解を深める体験の様子をご紹介します。朝方の霧が晴れ、晴天に恵まれた10月16日、夫婦や親子連れ、JICA海外研修員など約40名が集まりました。

エゾリスたちがすむ帯広の森を育もう

帯広市では市街地を囲む森を市民の手で造ろうと、多くの市民の積極的な参加の下、昭和50年から100年計画で森造りが進められています。造成開始から50年近くが経過した現在、帯広の森はエゾリスが生息するほど緑豊かな森林となりました。主催者から帯広の森や「エゾリスの会」の活動についての説明の後、森に生息する動植物についての話があり、参加者は興味を持って聞き入りました。座学の後はいよいよ外来種「ヨウセンゴウマツ」の実生苗の抜き取りをしていきます。



皆で力を合わせて外来種の抜き取り作業

森の中に入り、目的の植物を見つけ、協力して抜いていきます。「大きなチヨウセンゴウマツをJICA研修員の方たちと一緒に抜きました。絵本のように掛け声をかけながら抜いて尻餅をついたり、すごく楽しい思い出になった」北海道に移住してきたが、地域のイベントが少なく、「コミュニティ」が広がらず孤独感を抱いていたが、今日は北海道らしい自然を感じることができ、大変良かった」と参加者たちも充分に楽しんだ様子。

自然を守り森を造る継続的な活動

JICA研修員からも「コミュニティに参加できて」と

TOYOTA SOCIAL FES!! in 北海道にご参加頂いた皆さまへ

当日はご参加頂き、ありがとうございました！ TOYOTA SOCIAL FES!! はこれから全国各地で活動が続けていきますので、またどこかでお会いできる日を楽しみにしています！

お問い合わせ 北海道新聞東京支社 営業局

TOYOTA SOCIAL FES!! 事務局
TEL: 0226-06315 ※平日10時～18時(土日祝は休業)



企画制作：北海道新聞社営業局

てもうれしく楽しかった。機会を与えていただき感謝している」との声がありました。今回はアジア、アフリカ、ヨーロッパ各国からの参加で国境の垣根を越え、グローバルに地球環境保全を考えるイベントにすることができました。「自然環境を守りたいという思いはあっても何をすれば良いのか分からなかったが、今日は「エゾリスの会」の活動を知り、自分たちもほんの少しでも森造りのお手伝いのできたのはとてもうれしい」と話す参加者。帯広の森が目指すゴールはまだ先であり、持続的な森の保全活動が必要です。参加者たちは自然の中で過ごす時間を楽しみ、共に力を合わせて保護活動を続けようという思いを新たにしました。

主催 エゾリスの会
後援 北海道新聞帯広支社

詳しくは: toyotafes.jp



〈一緒に活動を行ったトヨタ販売店〉 釧路トヨタ帯広店、帯広トヨペット、トヨタカローラ帯広